

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 11/5 第20号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

第3回トークイン双ヶ丘

11月1日（金）に第3回「トークイン双ヶ丘」を実施しました。今回のテーマは、「学校祭を通して学んだこと」でした。今回も発表する生徒、聴く生徒、共に真剣な表情が印象的で、好感がもてました。代表生徒の発表の一部を紹介します。

1年生女子

「1組が、あの大きなホールで1組の強い力で歌うことができたことは本当にすごかったと思います。1組のクラス目標にもある一心一丸にあの時なれたのです。合唱にはクラスを動かす力があるのです。」

※クラスが目標に向かって団結することのすばらしさを感じてくれました。

1年生女子

「…そして迎えた本番…。女子は思うような結果が出せず悔しい想いでいっぱいでした。しかし、女子はマイナスな言葉を出さず『男子、任せたよ。男子ならいける』と前向きな言葉を男子に送りました。男子も女子を責めることなく『任せといて』と返してくれました。」

※前向きな言葉のやりとりが良い結果につながりました。言葉の大切さを感じてくれました。

2年生男子

「…切り絵の作品を作り終えて見たときは、『できた！！』という達成感で、みんな協力するとこんなすごい物ができるんだなと思い、感激しました。」

一人一人が作った物がきれいに組み合わせられてとても良い物ができたのがよかったです。」

※一人一人の力が合わさるとすごい力になることを実感してくれました。

2年生女子

「…感謝の気持ちを人に伝えることはできていないので、行動や言動に移していこうと思いました。『ありがとう』や『ごちそうさまでした』などといった、たった一言で感謝の気持ちは伝わると思うし、ほんの少しの勇気や言葉で相手に確実に伝えられるのは、とてもいいことだと思います。」

※言葉で感謝の気持ちを伝えることの大切さを考えてくれました。これからも実行してください。

3年生女子

「リハーサルは決して完璧とは言い難かった。しかし、そこからの追い上げはすさまじく、残された時間、クラス全員がそれぞれにできることを必死になってやった。ひとつの目標に向かっていくクラス全体のエネルギーは、私がこれまでに感じたことのないくらい熱かった。」

※クラスの団結が日を追う毎に強くなることが感極まる涙につながったのですね。よい経験でした。

3年生男子

「今年はみんなで他の学年を応援して、全体的にすごく楽しかったです。全力で応援した分、勝ったときの嬉しさも倍だったし、色団やクラスの雰囲気もとても良くなったので、応援にはすごい力があるんだなと思いました。」

※全力でやりきる、何事にも一生懸命、このことがうれしさや達成感につながります。

3年生男子

「応援合戦は昨年から始まったが今年は、昨年よりも何倍も良いものができたと思う。練習の数は少なかったが、どの色団も完成度の高いものができた。学級対抗リレーは、他の学年がやっても同じ色団のチームを応援していたのがとても良かった。」

※指揮者と体育委員を兼任して多くの苦労があったと思いますが、成長を実感してください。

3年生女子

「私は、伴奏で最後弾けなかったところがあった。すごく悔しかったけれど、クラスのみんなは『すごくよかったよ』『めっちゃ上手やったで』とほめてくれました。こないだ友だちがクラスにいて良かった。…今でもこの言葉は忘れられない。」

※クラスメートの一言で気持ちが楽になったのですね。言葉の力を感じてくれました。